

様式第 1 号 (第 5 条関係)

年 月 日

美馬市長 様

住 所
氏 名
連絡先

㊟

美馬市結婚新生活支援事業補助金交付申請書

美馬市結婚新生活支援事業補助金交付要綱第 5 条の規定により、関係書類を添えて次のとおり申請します。

	夫	妻
フリガナ		
氏 名		
婚姻日	年 月 日	
婚姻日における年齢	歳	歳
所得金額	円	円
貸与型奨学金の年間返済額	円	円

対象経費 内訳	住居費	取得費用	契約締結年月日	年 月 日
			契約金額 (A)	円
		賃借費用	契約締結年月日	年 月 日
		敷金	円	
		礼金	円	
		仲介手数料	円	
		共益費	円	
		その他	円	
		小計 (B)	円	
		リフォーム費用	リフォームを行った日	年 月 日
		費用 (C)	円	
	引越費用	引越を行った日	年 月 日	
		費用 (D)	円	
対象経費合計 (A + B + C + D)			円	
補助金申請額 (1,000円未満は、切捨て)			円	

住宅手当支給証明書

年 月 日

美馬市長 様

(給与等の支払者)

所在地

名称

氏名

電話番号

印

次の者の住宅手当支給状況を証明します。

(給与の支払者証明欄)

対象者		住所： 氏名：
住宅手当 支給状況	家賃	<input type="checkbox"/> 支給していない <input type="checkbox"/> 支給している 支給開始月 _____ 年 月 日 住宅手当月額 _____ 円 (内訳) 賃料 _____ 円 共益費 _____ 円
	初期費用	<input type="checkbox"/> 支給していない <input type="checkbox"/> 支給している 敷金 _____ 円 礼金* _____ 円 仲介手数料 _____ 円 その他 _____ 円 ※保証金などこれに類する費用含む。

注意事項

- 1 住宅手当とは、住宅に関して事業主が従業員に支給する手当等の月額です。
- 2 法人の場合は社印を、個人事業主の場合は代表者印を押印してください。

(勤めていない場合)

私は勤めていないので、住宅手当の支給はありません。 氏名： _____ 印
--

住宅手当支給証明書

年 月 日

美馬市長 様

(給与等の支払者)

所在地

名称

氏名

電話番号

㊟

次の者の住宅手当支給状況を証明します。

(給与の支払者証明欄)

対象者		住所： 氏名：
住宅手当 支給状況	家賃	<input type="checkbox"/> 支給していない <input type="checkbox"/> 支給している 支給開始月 _____ 年 月 日 住宅手当月額 _____ 円 (内訳) 賃料 _____ 円 共益費 _____ 円
	初期費用	<input type="checkbox"/> 支給していない <input type="checkbox"/> 支給している 敷金 _____ 円 礼金* _____ 円 仲介手数料 _____ 円 その他 _____ 円 ※保証金などこれに類する費用含む。

注意事項

- 1 住宅手当とは、住宅に関して事業主が従業員に支給する手当等の月額です。
- 2 法人の場合は社印を、個人事業主の場合は代表者印を押印してください。

(勤めていない場合)

私は勤めていないので、住宅手当の支給はありません。 氏名： _____ ㊟
--

年 月 日

申請者 住所
氏名

印

誓 約 書

美馬市結婚新生活支援事業補助金を申請するにあたり、美馬市結婚新生活支援事業補助金交付要綱第3条に規定する以下の補助対象要件をすべて満たしていることを誓約します。

補助対象要件確認欄

(該当するものすべてに☑をつける。)

- 夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下である。
- 夫婦の所得を合算した額が400万円未満である。
- 入居対象となる住宅の所在地と住民票に記載されている住所が一致する。
- 当該補助金と重複するほかの公的給付を受けていない。
- 生活保護法の規定による保護ではない。
- 新婚世帯のいずれもが過去に当該補助金の交付を受けていない。
- 市税を滞納していない。
- 暴力団又は暴力団員密接関係者ではない。

補助金の審査にあたり、以下の項目について市が調査することに同意します。

(調査項目)

- ・生活保護の受給状況

氏名 夫 _____ 印

妻 _____ 印